




疾患別診療計画書

人工股関節置換術①



経過	入院	術前日	手術日		1日目	2日目	3日目
			術前	術後			
治療薬剤 (点滴・内服)	痛みが強い時は、坐薬や痛み止めを使用します看護師までお知らせ下さい 以前より使用している薬を薬剤師または看護師にお知らせ下さい 抗凝固薬や抗血小板薬を飲んでいた場合は、手術の為に中止します	外来で麻酔科受診が済んでいない方は診察があります	術前から点滴を入れます(午前中手術予定の方は手術室に入れます) 手術中に抗生剤の点滴を行います 静脈血栓予防のため弾性ストッキングを使用します	手術後、5時間酸素をします 帰室後、1回抗生剤の点滴をします 血抜き管がはいってくる場合があります	抗生剤の点滴を2回行います 排液量をみて、血抜き管を抜きます 適宜傷の消毒を行います	抗凝固剤を皮下注射又は内服します 	
検査					採血を行います	適宜、採血やレントゲンの検査を行います	
処置			前開きパジャマに着替えます	血栓予防のための器械を足につけマッサージをします(翌朝)			
食事 (栄養士による指導も含む)	症状に合わせて食事を出しますアレルギーがありましたら気軽にお伝えください	21時以降は麻酔科の指示で食べ物を食べることは出来ません	飲水は朝の3時まで可能です	帰室後5時間後から飲水が可能となります	吐き気がなければ朝から食事が食べられます 症状に合わせて食事を出します		
安静度	特に制限はありません			手術後はベッド上安静になります ベッドが30度まであげられます(痛くない範囲で行いましょう)横向きは看護師がついて行います	歩行器で歩く練習を出来る範囲で行います 初めて歩くときは医師がつきます		
リハビリ (OT・PTによる指導を含む)	手術前にリハビリ室で股関節の術前評価を行います その他、車椅子や歩行器の操作練習、筋力トレーニングを行います				病棟でリハビリを行います歩行器を使用して、歩行する練習をおこないます	リハビリ室でのリハビリを開始します	
清潔	制限はありません	入浴をします	朝、洗面、歯磨きは行ってよいですただし水は飲まないようにしてください		タオルで体を拭きます		
排泄				排尿は管が入っているためベッドから降りる必要はありません 大便是ベッド上で排泄していただきます	排尿の管を抜きます 管が抜けてからはベッド上で便器又は尿器を使用します		
準備物品	着替え3~4枚(面会の方が来られる日数に合わせて)準備してください 手術時に履く弾性ストッキングのサイズを看護師が測定します						
患者様及びご家族への説明	◎看護師が入院生活について説明します ◎薬剤師が薬について説明します(術前、後) ◎レンタルパジャマランドリー利用希望の方は看護師へお伝えください ◎看護師より手術前のオリエンテーションを行います	麻酔承諾書にサインし、看護師に渡してください		手術が終わった時点でご家族に医師から手術についての説明を行います ご心配な点や不安なことがありましたらご相談ください	頭痛、吐き気のある場合はお申し出下さい		

人工股関節置換術②

経過	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目
治療薬剤 (点滴・内服)	抗凝固剤を皮下注射又は内服します 適宜、傷の消毒を行います 静脈血栓予防のため弾性ストッキングを使用します			 弾性ストッキングは終了とします			医師の指示で退院が可能となります				
検査				医師の指示により採血とレントゲン撮影を適宜行います			適宜、創部の状態を確認します 一本杖歩行が可能で創部の状態が良ければ退院可能です				退院
処置											
食事 (栄養士による指導も含む)											
安静度				病棟で退院後の生活指導が始まります							
リハビリ(OT・PTによる指導を含む)	生活での注意点などを説明します			◎退院、転院の判断 リハビリの進み具合により退院、転院を判断します							
清潔	タオルで体を拭きます 医師の指示でシャワー浴が可能となります										
排泄	できる限り歩いてトイレで排便、排尿をしましょう										
準備物品											
患者様及びご家族への説明				シャワー浴、入浴の方法を看護師より説明します			◎退院、転院の説明 (必要に応じ、ケースワーカーによる医療相談生活面の退院指導)				